

## 2. 鹿児島県十島村

### <概況>

- 南北160キロにわたって点在する7つの有人島（トカラ列島）で構成
- 週2便の村営定期船（鹿児島～トカラ列島～奄美大島）が唯一の交通手段
- 人口（国勢調査） 昭和30年 2,658人 → 平成22年 657人に減少

### <定住施策と効果>

- 平成22年度から村独自でU・Iターン促進など抜本的な定住対策を実施  
同27年には人口が758人に増加
- 平成20年度～27年度 Iターン154人、Uターン72人（住民全体の約3割）
- U・Iターン者の多くは農畜産業などに従事
- 天然塩づくり、島バナナを使った特産品開発、バナナ布の製品化など、Iターン者による新事業も

### <教育／交通／生活>

- 平成3年から学校存続に向け山海留学（里親型）を開始  
同28年度までに延べ274人を受け入れ
- 平成28年度、児童・生徒増で小宝島の小・中分校が独立校に
- 平成25年7月から、村営航路が全便奄美大島（名瀬）便に
- 平成29年度、平島・悪石島に簡易郵便局を開設予定



## <主な事業>



### ◆「就業者育成奨励金交付制度」

- ・一部、過疎債ソフト枠を活用
- ・農林水産業等に従事した場合、1日7000円～1万円を最大5年間支給
- ・H28年度 29人が受給



### ◆「空き家利活用事業」

- ・村が住宅を借り上げ、補修した上でU・Iターン者に貸し出し
- ・2年間、家賃の免除制度あり
- H28年度までに24軒補修・貸出



### ◆「定住対策室」設置

- ・H24年7月～
- 村の定住窓口を一本化



### ◆「水産加工施設」整備

- ・離島活性化交付金を活用
- ・指定管理者として民間業者に管理・運営させて雇用を創出
- ・急速凍結機で水産物の鮮度保持が可能に
- ・三枚おろし機などの加工機器により付加価値を高めた出荷も実現



### ◆「山海留学制度」

- ・留学生を受け入れる里親に月6万円を補助（離島活性化交付金）
- ・小・中学校の存続へ
- ・子どもたちが地域行事などへ参加、島の活気につながる



### ◆「定住促進プロジェクトチーム」設置

- ・H24年7月～ 島ごとに自治会長や村議会議員などを構成員とするプロジェクトチームを設置
- ・移住希望者の下見案内や、移住者の生活相談などに対応